

平群

Heguri

≡議会だより 12月定例会

No.259

平成29年2月1日

発行:奈良県平群町議会

第8回定例会(12月)

議長挨拶	2
議決結果	3
質疑あれこれ	4~8
議会の動き・議員提出議案	8
議会報告会を開催	9
町政を問う! 一般質問	10~15
町の話・生駒郡議員研修会	16



“マイ甲冑教室” ～みんなで楽しく甲冑作り～ (1月7、8日開催)

『より開かれた議会』

より身近な議会』を目指して



議長 山田 仁樹

余寒厳しき折、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より平群町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、感謝を申しあげます。

さて、昨年の平群町議会では、『より開かれた議会・より身近な議会』を目指して取り組んでいるインターネット配信の他、議会報告会では、初のこころみとして『分科会』を実施し、議員と参加頂いた方々とが座談会的に意見を交換する事ができ、多

方面に渡る貴重な御意見もお聞き出来ました。

頂いた御意見は、全議員で共有させて頂き、それぞれの議員が今後の議員活動の糧として活用させて頂きたいと思っております。又、町長に対し、『住民の声』として頂いた御意見を文書にて報告させて頂きました。

その他、10月には、議員全員で子育て支援施策や定住促進施策等により、合計特殊出生率が全国トップクラスの2・81(H26)を達成した岡山県奈義町へ視察研修に行き、色々な取組等を学んで

きました。

一方、平群町の合計特殊出生率は1・16(H27)であり、各学校の生徒数は年々減少傾向にあります。少子化は大きな問題であり、『少子化対策』『定住促進施策』は重要な政策・課題となっております。

しかしそんな中、昨年の明るい材料の一つとして、平群南小学校や北小学校の生徒で結成された平群マイスターズが全国大会で見事金賞に輝いたという嬉しい報告もありました。

平群町がますます、子どもたちの笑顔あふれる、元気あふれるまちとなっていくよう、町・議会・住民、それぞれの力を合わせた真の協働のまちづくりを目指し、全ての住民が誇れる、『おらがまち』となるように議員一同、頑張つてまいります。

皆様方のお一層のご理解とご協力をお願い申しあげ、ご挨拶とさせて頂きます。

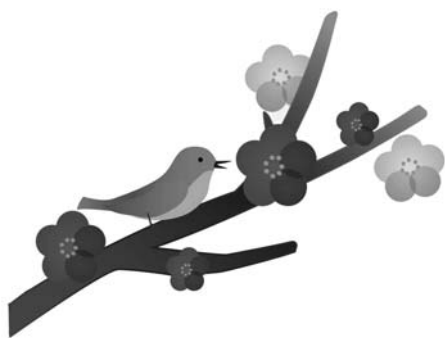
寒中お見舞い
申し上げます

議長	山田 仁樹
副議長	井戸 太郎
議員	山本 隆史

〃	城内 敏之
〃	森田 勝
〃	稲月 敏子
〃	植田 いずみ
〃	山口 昌亮
〃	高幣 幸生
〃	窪 和子
〃	下中 一郎
〃	馬本 隆夫



第8回定例会 こんなことが決まりました



第8回定例会は12月6日～16日まで11日間の会期で開かれました。
初日は、町長提出の18議決案件を審議し採決を行いました。
一般質問は13、14日に行われ、議長を除く11名の議員が様々の町政課題について質問・提言しました。
最終日は、議員提出の意見書1件が上程され審議・採決を行いました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	森田勝	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	下中一郎	馬本隆夫	山田仁樹
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(清掃センター仮置き焼却灰撤去工事の変更請負契約の締結について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて(清掃センター仮置き焼却灰撤去工事の変更請負契約の締結について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて(平群町公共下水道6号幹線3工区工事の変更請負契約の締結について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町税条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度平群町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度平群町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	区域外の公の施設の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奈良広域水質検査センター組合への加入について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

12月議会に上程された議案及び
質疑の主なものを紹介します。



承認9号 専決処分 (清掃センター仮置き 焼却灰撤去工事の変更 請負契約の締結)

清掃センター仮置き焼却灰撤去工事において、撤去する灰の中に一部転石が含まれていたため、この転石に付着した灰をテナントのリース期間内に洗浄するため、契約金額を660万9600円増額するものです。予算現額は承認8号と合わせて8400万2400円になります。

主な質疑

質問 残りの基準内のダイオキシン汚染灰の処理と近隣自治会への説明は。

答弁 残りの1万トのうち、2千トほどは来年度フェニックスへの搬入を予定している。その後については、今年度中に計画を示せるよう努めている。

今の工事分は地元説明会をした。今後についても地元及び議会に報告をしていきたい。

承認10号 専決処分 (公共下水道6号幹線 3工区工事の変更請負 契約の締結)

公共下水道6号幹線3工区工事(平群駅北側踏切西側付近から三里方面)で、当初、踏切内の薬液注入工は近鉄へ委託する軌道防護等工事の中で施工予定だったが、近鉄との協議で当該工事内で出来ることになり、薬液注入工15カ所を追加するため、契約金額を170万8560円増額するものです。予算現額は当初の6244万1280円から6414万9840円になります。

議案45号 農業委員会 の委員及び農地利用最 適化推進委員の定数に 関する条例の制定

農業委員会等に関する法律の規定に基づいて、農業委員と農地利用最適化推進委員の定数を定めるためのものです。
制定の主な内容は、①農業委

員会委員の定数は14人とする。
②農地利用最適化推進委員の定数は4人とする。③農業委員会の選挙による委員の定数条例の廃止。実施は現在の委員の任期満了後から。

主な質疑

質問 制度が大きく変わることは理解した。委員の選出のスケジュールで「推薦」となっているがどういうことか。また、「評価委員会」を設置するところがあるがどういうことか。

答弁 推薦母体は、女性の委員の場合はJAの女性部であったり、県指導官農士、4Hクラブ等の団体。農業者の場合、3人以上の農業者からの推薦していただいてもいいかなと思っています。評価委員会は、今後、評価要綱等を定め、メンバーとして副町長、農業委員会会長、観光産業課長(農業委員会事務局長)、都市建設課長などの案を考えている。

質問 現在、2名の議員枠があるが、その辺の考え方は。

答弁 新制度では、議会は農

業委員選任の同意機関となるので、団体推薦は今後ないことになる。ただ一個人として立候補することは可能。

質問 推薦や立候補はどのような形なのか。評価委員の決め方は。新設の農地利用最適化推進委員は専門性が必要であり、月額1万数千円の報酬で出来るのか。

答弁 推薦、立候補の方法や評価委員の決め方は、今後早急に検討するという段階。推進委員の報酬については、農業委員会の検討委員会でも、郡内で農地が多いが報酬が低いとの話も出たが、他(非常勤職員)の報酬もカットされているので、それで提案した。

質問 推進委員1人で100人負担するとなれば専任でないとならない。こんな低い報酬では結局、なにも出来ない。また、推薦方法などについて今後検討すると言ったことだが、3月頃までに詳しい内容が決まれば議会に報告を。

答弁 ある程度決定次第、報告する。

承認8号 専決処分 (清掃センター仮置き 焼却灰撤去工事の変更 請負契約の締結)

清掃センター仮置き焼却灰撤去工事において、地盤が軟弱で、当初設計のテナント内で直接トラックに積み込む搬出が不可能になったこと、掘削した灰の体積が増し、袋の増が必要になったため契約金額を587万5200円増額するものです。予算現額は当初の7151万7600円から7739万2800円になります。

議案46号 特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員会は、農地等の利用の最適化推進委員を委嘱することになったことに伴い、同委員に支払う報酬等を定めるとともに、ひきつづき、来年度も非常勤特別職の報酬を月額報酬で15%、日額報酬で30%減額するためのものです。

主な質疑

質問 以前より減額幅は抑えたというものの、いつまでこんなことを続けるのか不思議。この減額による経費減は。

答弁 平成27年度決算ベースで139万8320円になる。

反対討論

いつまでもカットするのはいいかなものか。本則で実施すべき。毎年、付則でカットするやり方は安易であり無策。職務内容に応じた適正な報酬を支払うのが本来の姿なので、この条例

改正案には反対する。

賛成討論

いろんな意味で、反対の話、よく理解できる。しかし、本町は我々議員も含めカットされている。全体的な財政状況を鑑みてやむを得ない措置かなと思うので賛成する。



議案47号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

今年度の人事院勧告に基づいて、一般職員の給料表を今年4月1日に遡り平均0.2%、期末手当0.1カ月引き上げる改定をするためのものです。

主な質疑

質問 人事院勧告は、この改定以外にもいろいろでいたが、すべて網羅されているのか。

答弁 職員給料は人事院勧告どおり。そのほか扶養手当の改正がある。配偶者手当を現行の1万3千円から来年度1万円に、30年度6500円に引く下

げ、子ども手当を現行の6500円から来年度8千円に、30年度1万円に引き上げるといっても、職員組合との協議が整えば3月議会に提案する。

質問 今回の改定による影響額は。

答弁 857万335円。

質問 人事院勧告にはもう一つ、介護休暇取得のことがあるが、これはどうするのか。

答弁 育児休業法の改正に伴うものだが、今月2日に細部にわたる法律が可決したので、3月議会に提案する予定。

議案48号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づいて、町長と副町長の期末手当を0.1カ月引き上げるためのものです。

議案49号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づいて、教育長の期末手当を0.1カ月引き上げるためのものです。

議案50号 町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づいて、町議会議員の期末手当を0.1カ月引き上げるためのものです。

主な質疑

質問 この3議案の影響額は。

答弁 町長6万8880円、副町長6万5520円、教育長6万4050円、議長4万3200円、副議長3万4720円、議員3万2480円。

質問 住民に負担をいただいていることが多々あるが、町長は今回の7万円弱のアップをどのように考えているのか。自分

に甘くて他人に厳しいように見受けられる。

答弁 職員も含めて、副町長も教育長も、議員のみならずも。私だけがそういうこと(期末手当引き上げない)をするのも整合性の問題もあり、(引き上げを)提案した。

質問 整合性はなくてもいい。町長自らがどうするかというところ。町長が今まで言っていることを実行するのなら、こんな提案はしないのでは。

答弁 意見は承っており。

議案51号 町税条例等の一部改正

税制改正により「地方税法の一部を改正する等の法律」及び「所得税法等の一部を改正する法律」のうち、平成29年1月1日以後に適用となるものについて、所要の改正を行うもの。

主な改正内容は、①延滞金の計算期間の見直し ②個人町民税の医療控除の特例 ③特定利子等又は特例適用配当等に係る個人町民税の課税の特例。

次ページへ続く

議案52号 国民健康保険税条例の一部改正

日本と台湾との間で二重課税を回避する等の措置を講ずるた

めの日台民間租税取り決めが締結されたことを受けて、所得税等の非課税等に関する法律が一部改正されたことによるものです。

議案53号 平成28年度一般会計補正予算(3号)

歳出の主なものは、人事院勧告に伴う職員給与の調整、マイナンバー制度に係る地方公共団体情報システム機構負担金の増額、シルバー人材センター事務所移転の造成費の計上、障害福祉費と福祉医療費の扶助費の増額、臨時福祉給付金事業費の計上、上庄地区地積調査事業費の増額、総合スポーツセンターのウォータープークの起流ポンプ修繕費の計上などで、補正の歳出総額は1億154万3千円です。歳入の主なものは、扶助費や臨時福祉給付金事業に係る国と県の負担金の増額などで、

補正の歳入総額は4026万6千円で、歳入不足6127万7千円は財政調整基金から繰り入れます。

主な質疑

「臨時給付金」関連

質問 臨時福祉給付金について、今年度の実績は。

答弁 高齢者向け給付金は対象者1662人に対して1584人で95.36%、臨時福祉給付金は3124人に対して2782人で89.05%、障害・遺族年金受給者向け給付金は77に対して67人で87.01%の給付となっています。

質問

(今回補正に計上の)臨時福祉給付金については、2月末に対象者に申請書を送付

し、3月から6月1日までの受付。広報での案内、催告等も遅滞なくやっていただきたい。

答弁 1月、2月の広報に案内を掲載し、3月には全戸チラシの折り込み、4月～5月には催告も実施したい。

質問

臨時福祉給付金事業の電算委託料が随意契約になっているが、この妥当性はどのように考えればいいのか。

答弁

毎回発生する。もったいないと思うが、毎回システムの改修しないといけないことになっている。見積り金額で計上している。

「シルバー人材センター移転」関連

質問

シルバー人材センター移転について、この土地(下垣内の町有地)を選定した理由は何か。

答弁

シルバー人材センターは駅周事業がらみで早々に移転の必要があること、同センターから交通の利便性のよい場所をとの希望があったことから、総



合的に判断して下垣内の町有地を提案し合意に至ったもの。

質問

この町有地の鑑定価格は。また、リサイクルセンターはどうなるのか。

答弁

鑑定価格は1509万円。リサイクル館は町の空いている施設の活用で考えているが、最終的には決まっていない。

質問

来年4月から5月に移転しないと駅周事業が完成しないのでは。唐突ではなく事前に議員に説明を。

答弁

現在ある施設を予定しているが、調整区域ということで、関係するところとの協議や手続の関係もあって、最終的に

決まっていない。

質問

シルバー人材センター移転の町有地は平成25年からネット公売にかけ、たまたま売れずに残っていた土地。鑑定価格が1509万円で、地代は年間2%で30万円。今回800万円使って整地する。この金額は地代の26年分。売却からシルバーへの貸与、この政策転換はなぜか。結局、行き当たりばったりか。

答弁

9回公売にかけたが売れなかった物件。基本的に使っていない公有財産は売却して活用を図るとというのが基本方針なのは変わらない。今回の場合は、シルバー人材センターという公的な要素の強い団体に、駅周事業の関係で移転の必要があることから、この場所を選定した。

質問

どっちにしても行き当たりばったり。整地に800万円かければ、土地の評価が上がる。地代はどのようにするのか。

答弁

整地後の適正な評価をした上で借地料を決定する。



質問 障害者福祉費の介護・訓練等給付費と障害児施設給付事業が増加している理由の説明を。

答弁 当初予算では前年度の前半の半年分の実績にもとづいて措置している。増加の理由は、利用者及び利用時間の増加。

質問 マイナンバー制度にかかわる補正211万円計上されているが、交付税算入はあるのか。

答弁 補助金のない部分は交付税算入がある予定。

質問 国土調査費について、上庄地区で2年間でとの説明だが、元々の予定だったのか。また、今後の予定はどのようになっているのか。



答弁 上庄地区に企業誘致の話があったときに、地籍が混乱しているということで今年度と来年度で入る予定になっている。今後の予定は、あと3エリアあり、30年度から37年度に入る予定になっているが、地区の内訳は今後優先順位を付けて決めていきたい。

質問 上庄の調査地区は企業誘致の話が以前にあったが、それ以降は何の話もないのか。

答弁 具体的話はない。

質問 今回の補正後の財政調整基金について、差引2億6千万円取り崩す見込みとなっている。いま現在、今年度の収支をどのようにみているのか。

答弁 基金の状況からはお述べのとおり。現時点で多寡を言うのは早計だが、単年度赤字とというのはある程度見込んでいます。

質問 ウォーターパークのポンプ取り替えの予算が出ているが、新年度予算でいろんな修繕をあげるのが本来と思うが、今議会で出した理由は。

答弁 オープンの7月にこの起流ポンプを間に合わせるには新年度のスタートでは間に合わないことから、今回の補正になった。

質問 高齢者の免許証自主返納について、いま現在、何名ぐらいあるのか。

答弁 今年4月に県警と協定を結んで、自主返納した人に奈良交通バスのICカードまたはコミバスの回数券をそれぞれ5千円分の支援をする事業を実施している。現在、奈良交通9件、コミバス7件、16人に配布している。平群町で年間50人程度が返納されているということなので、今回30件の補正をした。

賛成討論

シルバー人材センターとリサイクルセンターは駅周の関係で移転が必要なのはわかっていながらもかわらず、議会への説明責任が果されていない。遺憾であり、議会軽視と言わざるを得ない。しかし、臨時福祉給付金のこともあり、この議案については意見を付して賛成する。



平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(4号)

補正総額は2930万7千円。歳出では、人事院勧告に伴う職員給与の調整、共同事業拠出金の今年度決算見込みの算定に伴う高額医療費拠出金と保険財政共同安定化事業拠出金の増額を行います。歳入では、共同事業拠出金の今年度決算見込みの算定に伴う国庫負担金と県負担金の増額などを行います。

平成28年度下水道事業特別会計補正予算(2号)

補正総額は48万7千円。歳出では、人事院勧告に伴う職員給与の調整、公共下水道の供用開始の遅れに伴う流域下水道維持管理負担金の減額を行います。歳入では、公共下水道の供用開

始の遅れに伴う加入者負担金と下水道使用料の減額などを行います。

主な質疑

質問 緑ヶ丘の217軒の供用が遅れているので、加入負担金と使用料を減額する。そうすると、その収入も含めていた公債費に穴が開くから、それを一般会計から繰り入れるとの説明だが、供用が遅れたことで、一般会計の負担が2624万7千円増えるということか。また、消費税の還付金が丸々なくなつたとのことだが、何か理由があるのか。

答弁 加入負担金は公債費の元金に、使用料は利子にあてる財源。緑ヶ丘で3カ月分、年度内に供用できなかった分を繰入ということではない。消費税還付金は、使用料で入ってくる仮りに受ける消費税と、工事や委託料で支払う仮りに受ける消費税のバランスによるが、年度内の工事や委託の執行見通しが狂ったことで、結果的に還付がなかったということ。

次ページへ続く

町道路線の廃止について

川原路線拡幅工事に關つて、南西宮150号線を廃止するためのものです。

主な質疑

質問 川原路線拡幅について大まかなスケジュールは。

答弁 早期の完成をめざしているが、予算や用地確保から、現時点でのスケジュールは平成33年、34年には供用開始

始したいと考えている。

区域外の公の施設の設置について

生駒市内にある近鉄東山駅利用者の平群町自転車等駐車を拡増するため議会の議決を求めるものです。

なお、この件は生駒市議会の議決も必要になります。

主な質疑

質問 拡増はありがたい。

いつ頃から利用できるようになるのか。

答弁

生駒市議会の議決が必要なので、現時点では明言できない。

質問

経費負担とあるが、どのような経費がかかるのか。



答弁

白線を引く費用2万円程度。

奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

西和衛生試験センター組合の解散に伴うものです。

奈良広域水質検査センター組合への加入について

西和衛生試験センター組合が解散したため、来年4月から表記組合に加入するためのものです。

議員提出議案

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書（案）

提出者 窪 和子
賛成者 高幣 幸生
（原案可決）

議会の動き

議会運営委員会

※平成28年度議会報告会について
10月11日／10月17日
※平成28年平群町議会第8回定例会の議会運営について
11月24日

文教厚生委員会

※学校給食費の引き上げについて
※国民健康保険税の税率見直しについて
11月24日

全員協議会

※清掃センター仮置き焼却灰撤去工事変更請負契約締結の専決処分について
※平群町公共下水道6号幹線3工区工事変更請負契約締結の専決処分について
11月24日



森田 勝 議員

生駒郡選奨式で表彰

平成28年度生駒郡選奨式が11月14日、平群町で開催され、平群町議会から森田議員が特別表彰を授与されました。

第7回議会報告会を開催

平成28年11月19日午後2時から、中央公民館において、今回で7回目となる議会報告会を開催しました。
大勢の方にご参加いただき、ありがとうございました。

山田議長の挨拶のあと、次の2点について報告しました。

・平成27年度決算報告

報告者 決算審査特別委員会

委員長 窪 和子

・定住促進について

報告者 総務建設委員会

委員長 下中 一郎

また、今回は初めて、総務建設委員会と文教厚生委員会に分かれて分科会を開催しました。
たくさんのご意見をありがとうございました。

分科会での主なご意見

《総務建設委員会》

・近隣町と比べると公共施設が見劣りする。お金がかかるので一度に整備できるわけではないが、一歩一歩前進すれば、町民もそれが一つの励みになる。



・文化センター建設の話があるが、コンセプトについて住民の意見を吸収する機会を持ったほうがよい。

・有害鳥獣対策にもう少し補助金を出せないか。

・東西の道、大和郡山市に抜ける道を考えてほしい。

・お土産等で町にお金が落ちる算段を考えないといけない。

・平群町は大阪へ1時間で十分行けるのに、不便というのは理解できない。

・若い人に住んでもらえるように、もともと何か考えてほしい。その「何か」が1番大きな問題。

・5階建て以上のマンションを建てられる場所を考えたほうがよい。

・平群駅前を早く完成させてほしい。

・空き家バンクがあると聞い



た。個人の住宅なので難しいと思うが、空き家を活用して住んでももらえれば、人口が増えるのではないか。

・西小学校や南保育園跡地の有効利用について、人を集めるような計画があるのか。

《文教厚生委員会》

・清掃センターの焼却灰について、住民の健康に関する質疑応答はあったのか。今後の計画について、途中経過も含めて住民説明会を開いてほしい。

・清掃センター焼却炉を長持ちさせるためには、ごみの分別の徹底と、事業系持ち込みごみを減らすことが必要。

・枝はひもでくれば無料で回収してくれるが、枝から落ちた葉は有料袋に入れなければならぬのはおかしい。葉だけを入れた袋は無料で回収できるよう

に検討してほしい。

・蜂の駆除に有料（1千円）で防護服や薬は貸してくれるが、駆除してくれる自治体から移住した者にとっては冷たいと感じた。

・行政と住民の兼ね合いを議員に見出してほしい。住民をまき込んでやる必要がある。できることはしておかないと、負の遺産を孫やひ孫に回すことになる。

・高齢化が進む中、インターネットや近鉄ケーブル等を使って高齢者の見守り等できないか。

・町内に休日・夜間診療所がないので、町の医師会で当番を決めて何かの時には医療相談をしてもらえる、必要以上の救急車出動が減るのではないか。

・3、4歳児での眼科検診の費用は40万円程度。定住促進の一環で実施できないか。

最後に、井戸副議長がお礼の挨拶を申し上げ、4時に終了しました。

町政を問う! 一般質問一覧

城内 議員	1.まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2.平群町国民健康保険データヘルス計画について	下中 議員	1.産・官・学連携の拠点づくりを 2.奈良女子大学との連携協定の締結を
高幣 議員	1.ええやんか平群、親子孫の隣近同居に助成を。 2.国民文化祭の準備、その後のPRと進展状況は。	井戸 議員	1.将来必要な設備投資等全てを含んだ財政シミュレーションを 2.5年後はどうする? 迫る返済期日、130億円の借金をどう返済するのか? 3.大規模ソーラー規制の指導要綱の適用、効力について
稲月 議員	1.住民生活を脅かすことのないメガソーラー開発ルールを 2.水道管の漏水トラブルについて 3.人家付近に出没するイノシシ対策について	山本 議員	1.若者定住化促進に追従するこども園の運営を
森田 議員	1.基幹産業の農業の振興策は 2.上庄地区工業ゾーンへの進出企業は 3.中央公園内のサブグラウンド利用促進を	馬本 議員	1.給食センターの改修と調理設備等の充実を 2.最終年度をむかえた駅前事業について 3.清掃センター内の仮置き焼却灰について 4.公共交通空白地域の解消について
植田 議員	1.就学前の眼科検診について 2.就学援助制度の入学準備金を入学前支給に 3.東山駅にエレベーター設置を	窪 議員	1.近鉄東山駅のバリアフリー施設整備の早期完成を 2.平群町版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の設置を 3.不妊治療助成制度の創設を 4.各種証明書等のコンビニ交付サービスの創設を
山口 議員	1.農地への産廃・土砂の不法投棄の早期改善を 2.ゆめさとこども園南側歩道の国道までの延長を 3.椿井地区へのコーナン開発予定地について 4.国保税率をめぐる問題について		

質問

町では、平成27年3月に将来人口を設定した人口ビジョンと、人口減少克服に向けた今後5か年の施策の方向性を定めた総合戦略を策定された。この計画は、幅広い分野における今後のまちづくりの施策が記されている。5か年という期間で真の平群町の創生が実現できるのか。その実効性についてお聞きする。①定住促進施策として空き家の活用が掲げられてい



城内 敏之

まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

答弁

るが、空き家バンクが実情はどのように機能しているのか、今後の方向性は②総合戦略で掲げている各施策はどれも「へぐり創生」へ向けてあるが、特に重要視しているのはどの事業・分野なのか。

①空き家バンクの制度の現状については、需要と供給のマッチングがまだ十分とは言えないが、今後空き家供給の掘り起こしを積極的に行い、登録件数の充実に努めてみたい。



②町のイメージである「HEGURI-CH」の良好な暮らしを実現するためのアピールやプロモーション事業、子ども医療費などの子育て支援策の充実、企業誘致や就業希望者の受け入れ、特産品の開発、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境をソフト・ハード面から推進する。

ええやんか平群、 親子孫の隣近同居に助成を

質問



高幣 幸生



人口の取り合いする自治体が急増です。新戦略の「そろそろ親の隣・近・同居の町づくり」。両親・祖父母の老後、介護が心配です。家族が安心して暮らせる2・3世代の町づくりです。両親、祖父母を幸せにする力には親・子・孫の隣・近・同居助成金制度を設定し、高齢化時代の近場に息子や娘が住んでくれる、老後を見て、空き家対策も含め、隣・近・同居の

答弁

生活が出来る「ええやんか平群」を提案する。

親・子・孫の3世代の同居・近居は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の若者層定住化促進の施策で位置付けを行っています。3世代の同居・近居は、「家族」のあり方を促進するものです。例えば親が孫世代の子育てを援助し、子世代の就労を促進する、必要に応じ、子・親世代の医療や介護の手助けを行う家族の役割分担の促進に繋がります。本町には優良な戸建住宅が多く、受け皿となる住宅の供給も可能です。3世代により子育て世帯の人口と税収の増加が予想されます。今後、定住促進奨励金の実績を検証し、他の個人給付事業との整合性や財政状況を踏まえ、調査・研究します。

質問



稲月 敏子

水道管の 漏水トラブルについて

11月に三里地域で水道管の故障から長時間の断水が発生し、近隣住民に大きな不安を与えた。被害状況①水道管の故障の原因 ②漏水量③全町での水道管トラブル件数(昨年・今年11月まで)をしめすとともに、③水道管老朽化の調査状況と④水道管交換の計画を示し、住民の不安を招かないように早急に対策を講じることとする。

答弁



三里地域で水道管が老朽化によって穴が開き、

漏水、7時間の断水が発生した。
近年まれにみる大きな事故で漏水量も230㎡になった。漏水発生箇所については4～5mの管を取り換えた。当該地においては来年度に詳しい調査をし、管の入れ替えを考えている。
昨年の漏水件数は50件、今年11月までは38件。広範囲の断水にまで及ぶものはなかった。
全町的にも布設から40年を経過する箇所も増えてき、漏水の危険性も増えている。安定的な水道水の供給をしていくために「平群町水道ビジョン」を策定し優先度の高い管路から更新、耐震化対策を実施している。

中央公園内の サブグラウンド利用促進を



森田 勝

質問

中央公園内のサブグラウンドは、若井地区の児童館グラウンドが閉鎖になったことから転用されたもので、使用料は無料にも関わらず、利用されてないようであるが、利用促進策があるのか。

なお、このサブグラウンドは児童館時代から、敷地の一部857㎡の土地を借り上げており、昨年度の地代は年間25



答弁

万7088円払っている。

中央公園のサブグラウンドは、平成22年4月児童館グラウンドから社会体育施設として供用を開始しているが、供用開始以降現在に至るまで、ほとんど利用がないのが実態である。

その要因は、施設の老朽化が進んでおり、駐車場から遠い、規模の狭小等、利便性の悪さ等が考えられる。

利用促進のため、これらの課題を解決するのに、利用目的の再検討、利用ルールの見直し等を行い改善を図りたい。

それでも、利用率が上がらない様であれば、サブグラウンドの廃止も視野に入れる。

ただ、廃止し借地部分を返す場合、農地へ原状回復する必要があり、かなりの費用を要する。

東山駅にエレベーター 設置を



植田 いずみ

質問

今回で4回目の質問となります。一刻も早く東山駅にエレベーター設置を願う住民運動が広がりを願う署名数は6963筆となつています。また近

隣自治会(平群町・緑ヶ丘、月見台、上庄台 生駒市・秋津、東山町)からも要望書が提出されています。近大病院もあり高齢者や障害者、子育て世代にとっても使い辛い東



山駅の現状の改善は急務です。9月議会以降の経過と現時点の状況、その他整備もお示しく下さい。

答弁

近鉄・生駒市・平群町の三者協議で、H29年度設計、H30年度設置で合意。終日利用のホームは、利便性の点からもエスカレーター(2番ホーム)を存続させ、エレベーターを設置するよう生駒市と平群町で強く要望しており、近鉄は検討するとの回答。

生駒市と平群町の経費負担割合については、平群が理解(納得)できる内容で協議中。その他、多機能トイレや視覚障害者対応の整備等が予定されているとのことです。

国保税率をめぐる問題について



山口 昌亮

質問

国保会計の赤字を理由に、総額2億5千万円、年金収入2人世帯で9万4700円、給与収入350万円の4人世帯で21万9800円もの負担増となる国保税の増税は認められない。

国保については、国庫負担を25%まで下げたきた国の制度に問題があるが、そのことはすぐに解決する問題ではない。また、平成30年度から国保の財政運営の主体は



県になる。

これらのことから、来年度の国保税は、町が示した超大幅な増税でなく、加入者が負担可能な近隣市町とも整合性のとれた料率にし、30年度からの新たな制度の動向も見極めた上で、その後の料率を検討すべきだ。

答弁

平成26・27年度で約3億円の赤字。29年度から国保税の増収を図るべく、国保運営協議会、議会文教厚生委員会に税率改正案を示したところ、税率見直しの必要性は理解するが、増税額があまりに大きく、加入者の生活に与える影響が大きすぎるとの意見を頂いた。

町としても大きな負担と認識しているが、赤字を後世に持ち込むべきでないとの考えから、やむを得ないものと考えている。

産・官・学連携の拠点づくりを



下中 一郎

質問

奈良教育大学・奈良大学に続いて、アグリビジネスを通じて交流があり、平群町の特性を生かした特産品の開発にも御尽力頂いている近畿大学との協定締結も間もなくです。まさに、本町における産・官・学連携の典型となっています。そのようなかで、本町が進めている住民との協働によるまちづくりをより一層進めるために、学生・大学側と住民との交流の場



を確保することも必要です。

その交流の場として、旧西小学校を産・官・学連携の拠点として活用することを提案します。

答弁

旧西小学校の利活用については、検討段階であることを踏まえ、企業にも参入してもらい、産・官・学連携の拠点づくりに取り組むべきと考えているが。

廃校になった学校を活用して事業展開を企画している企業とも協議の場を持ち、大学側にとっては、学生の研究の場や社会参画の場づくりに、企業側にとっては、ビジネスとして成り立てば、産・官・学連携を視野に入れ、地域の雇用創出や大学・学生側と住民との交流にもつながると見込まれると考えられ、現在研究しているところだ。

5年後どうする？ 迫る返済130億円の借金

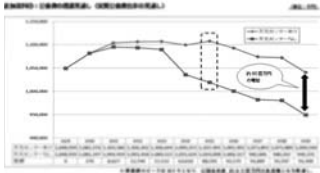


井戸 太郎

質問

現在緊縮財政として進めている。しかし、これから5年後、現在よりも年間約3億円の財源不足に陥る。(公民館建設ならば、4億円?)

これは、かしのき荘廃止、コミバス廃止、南小学校統合など暴動が起きるようなことをしたとしても、5300万しか削減できない。それを年間3〜4億円を削減するということは、想像を絶する。3〜5年後には、平群町史上、類をみ



ない財政難に陥る。

そこで、今どうするか。財源を生み出す方法、カットすべき行政サービスなど、具体的に示してほしい。また第2次行財政改革大綱の目標数値、地方債残高95億円以下になるのはいつか。5年後のため、町長の任期中に基金を10億円は積むべきだ

答弁

さらなる行財政改革によつて、今後地方債の発行額が返済額を上まわらないようにしたい。

地方債95億円以下になるのは、公民館建設しない場合はH36年度末、建設時はH37年度末。

今実施している行政サービスも検証し、効果がない場合、廃止も含めた新財政計画を考える時期にきている。

若者定住化促進に追従 するこども園の運営を



山本 隆史

質問

少子高齢化が進む本町では、「平群町子育て支援No.1宣言」を打ち出して若者・子育て世代の転入を促進し、人口減少に歯止めを掛けようとしています。

ある団体が子育て夫婦に転居されるタイミングを調査した結果、「子ども達が小学校に入学するまでに」が圧倒的に多いことが判明しました。



今後、さらに推進する定住化促進。子育て世代が増えた場合や共働き世帯が増加した場合、それに追従するこども園の途中入園待機児童対策を、どのようにお考えですか。

答弁

現時点でのゆめさと・はなさと両こども園合算の受け入れ可能園児数は、0〜2歳児で0名、3歳児で1名、4歳児で7名、5歳児で5名です。年度途中での保育教諭の確保は、現在の雇用情勢から難しい現状ではありますが、必要であればあらゆる手立てを使い、確保に努めたいと思います。

少子化が続き、子ども自体が減少傾向にあるなか、少しでも正確な直近での保育教育ニーズ量を予測し、中長期的に必要な定員を見定めながら、現施設の活用や場合によっては施設の転用や改修も含め、検討を致します。

最終年度をむかえた 駅前事業について



馬本 隆夫

質問

平群駅前整備事業は、今年度をもって国からの交付金・補助金等の最終年度事業となっておりま
す。今年度予算は、昨年度の繰越分と合わせ約15億2千6百万円で高
額予算となり、今年度内
執行が危惧され、6月
議会に家屋移転補償・工
事等の進捗状況と今後の
見通しについて質問しま
した。

担当者は、「現在、家
屋移転補償等の未契約件



数は21件で約6億5千
6百万円、又、未工事
費は約5億8千万円で
す。又、(仮称)文化セ
ンター用地は事業完了ま
でに土地を確保していま
います。」と回答されま
した。

12月議会は、来年度予
算の編成にむけ重要な時
期であり、再度、家屋移
転補償契約件数・工事の
進捗状況と今後の見通し
及び、駅前整備事業区域
内に建設予定の(仮称)
文化センター用地確保に
ついて質問しました。

答弁

12月末には家屋等移
転補償21件中13件の契
約が見込まれ、残り8
件は、来年3月末まで
に、契約できるよう全力
で取り組みますが、未契
約については、次年度へ
未工事費と同様繰越を行
います。又、(仮称)文
化センター用地買収は、
H30年度の予定です。

東山駅のバリアフリー 施設整備の早期完成を



窪 和子

質問

近鉄生駒線各駅のバ
リアフリー化について幾
度も一般質問を行ってき
ましたが、特に東山駅は
一日乗降客数が3,000
人以上の駅のためバリア
フリー新法により平成32
年度末までの実施が明確
ですが、近大病院の最寄
り駅でもありエレベ
ーター等の段差解消や障
がい者対応型トイレ設置な
どの早期整備が必要で
す。

生駒市域の駅のため生

駒市議会議員とも連携し
平成28年3月生駒市議
会で初めて整備目標年度
が明言。直近の進捗状況
についてお尋ねします。

答弁

近鉄の他駅の計画変更
もあり、東山駅は平成29
年設計・30年度にエレ
ベーター設置や内方線付
点状ブロック、多機能ト
イレ新設、誘導チャイム
などのバリアフリー化を
実施する回答を得た。さ

らに生駒市との費用負担
についても合意できるよ
う協議をしている。

12月5日、小紫生駒市
長や公明党議員の方々に
も同行いただき石井国土
交通大臣を訪問し、東山
駅のバリアフリー化につ
いてエスカレーターを撤
去することなくエレベ
ーター設置の早期実現と国
の支援を強く要望した。
今後も生駒市と連携し、
近鉄との協議に臨みた
い。



生駒郡町村議会議員研修会

「2016年後半の政治と安倍政権 ―踊り場が正念場か―」

講師 塩田 潮 氏（ノンフィクション作家・評論家）

昨年、10月28日（金）いかるがホールにおいて、「2016年後半の政治と安倍政権 ―踊り場が正念場か―」と題して、郡町村議長会議員研修が開催されました。

塩田氏は、永田町と霞が関を舞台に政治、経済、官僚論、日米関係、人物評伝、昭和史など幅広いテーマで多彩な執筆活動を続けておられ、また評論家としても活躍されています。

講演では、安倍政権が抱える憲法改正や首相の交代時期、野党再編など現在の政治状況を分析され、今後の日本の政治の行方を語られました。



編集後記

2月は一年で一番寒い時期。その2月3日は毎年恒例の「信貴山朝護孫子寺の鬼追式」がおこなわれます。数年前初めて行かせていただきました。午後6時、冷たくピンと張りつめた空気の中、鐘が鳴り響き松明が焚かれた朝護孫子寺の舞台から下を見下ろすと、赤鬼や青鬼が本堂めがけて石段を掛け上がって来ます。暴れる鬼に向かつて、いただいた豆をまいて鬼退治に参加！毘沙門天の登場で鬼達は退散。小さな子ども達の中には、泣き叫ぶ一幕も。

とても幻想的な空間と時間を過ごしました。

「鬼追いの

握るお豆で子に返る」

植田 記



植田 記

町の話 題



第44回マーチングバンド全国大会出場 金賞に輝く!!

12月17日さいたまスーパーアリーナで開催された第44回マーチングバンド全国大会で「生駒市立あすか野小学校プラスバンド&平群マイスターズ」が、「海」をテーマとしたマーチングで、小学生の部・マーチングバンド大編成部門で見事金賞に輝きました。（写真は6年生）

平群マイスターズは3年前、南小学校の学童の居場所づくりとしてスタートし、平成27年からあすか野小学校とチームを結成して、その年の全国大会では「空」をテーマにしたマーチングで銀賞を受賞。

今回はテーマを「海」と決め、後はイメージづくり、曲選び、編曲等の作業を行い、各小学校で練習を開始。夏休み以降は、平日は各校で夜遅くまで練習、土日はあすか野小学校で合同練習と、かなりハードな練習に児童がよく耐え、よく頑張った。また、保護者には児童の送迎等いろんな面で大変お世話になったと、顧問の浅見先生のお話。

平群マイスターズは社会教育クラブで、学校のクラブ活動ではないので、他校からの参加もOK。今回のメンバーも北小学校から2名参加していました。

逆に学校のクラブ活動でないため、楽器集めに苦労されたようで、金管楽器を寄付いただいたり、古い楽器を集めてきて、メンテナンスして使うといった状況だったそうです。いらなくなった金管楽器がありましたら南小学校に連絡してってください。

もう、顧問の浅見先生は大会に向けてスタートしているようです。ガンバレ、平群マイスターズ!! 今年の活躍を期待しています。

森田 記